

上映とトークのつどい

夜間中学へ行こうよ!

学校に来て「こんばんは」というと
みんなの返事がかえってくる。
その声を聞くと 今までの出来事が
よいことも あるいことも かなしいことも
みんな消えて 学校に来たよるこひで
いっぱいになってくる。

横山隆一

2021 11/7 (日)

10:00-11:40 (9:30 開場)

くまもと森都心プラザ AB 会議室 (熊本市西区春日 1-14-1)

夜間中学ドキュメンタリー

文部科学省選定

こんばんはⅡ

監督：森 康行 (「こんばんは」第77回キネマ旬報文化映画ベスト・テン第一位)

ナレーター：大竹しのぶ

制作・著作：夜間中学校と教育を語る会

編集：古賀 陽一 選曲：八重樫 健二 撮影協力：川越 道彦

2019年制作/DVD/ドキュメンタリー/カラー/37分



主催：熊本の夜間中学と教育を考える会

参加無料

映画上映後、元夜間中学教師の関本保孝先生に夜間中学についてお話をいただきます。

事前申込

裏面の申込み方法から 11月1日(月)までに申込ください。

★感染症対策のため入場人数を制限して、三密を避けます。参加者はマスク着用、アルコール消毒などにご協力ください。

義務教育未修了の方は百数十万人

政府の統計では、学歴がゼロという方だけでも128,187人います。さらに小学校のみ卒業、中学校中退、義務教育猶予の障がい者、ほとんど実質的に学ぶことができず、形だけ卒業してしまった不登校経験者、外国につながる人などを加えると、その数はさらに多くなります。

公立夜間中学と自主夜間中学

2019年4月現在、公立夜間中学は9都府県に33校。開設に向けて各地に動きがあるものの、限られた地域にわずかしかないため、義務教育未修了者の学びの願いにはボランティア団体が運営する「自主夜間中学」がわずかに応えているのが現状です。この映画には公立と自主の両方の夜間中学が描かれています。

学ぶことは
生きること

全ての人に
学ぶ権利がある

その声を社会全体の常識に!

〈基本的な学びは、年齢・国籍などにかかわらず、どんな人にも生きるためになくてはならないものだ〉この映画に登場する人たちがそれを証言しています。国や自治体はこれに応える責任があります。また、学べなかったことを自分のせいにしてひっそり生きてきた人たちに、そうではない、今からでも遅くない、ぜひ学んでほしいと声を大にして呼びかけていきましょう。



■後援：熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊本日日新聞、KAB、KKT、RKK、TKU、FMK、FM791（予定）

■事前申込：11月1日（月）までに以下のURLから申し込みください。コロナ対策のため人数に制限があります。

<https://forms.gle/Ke6ppsavVpZ6H6nC8>



■お問い合わせ

熊本大学教育学部
教育学講座（山城）
qianqiu@educ.kumamoto-u.ac.jp
☎ 096-342-2624

★講師：関本保孝先生（せきもと やすたか）

元都内夜間中学教諭。1978年より約36年間、都内夜間中学で中国帰国者や外国人に日本語を教える。えんぴつの会（墨田区）での夜間中学卒業生等学習支援スタッフ、・ピナット（三鷹市）での外国につながる子どもの学習支援スタッフ。基礎教育保障学会事務局次長。

共著：『いのちに国境はない～多文化共創の実践の実践者たち』（慶應義塾大学出版会、2017）他